



サブスタッフ通信

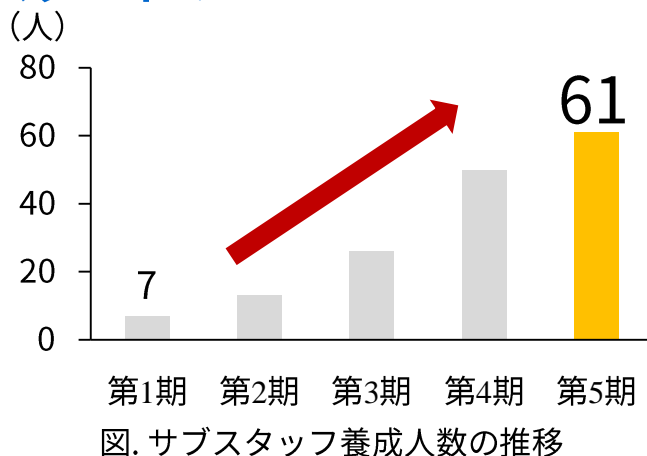
サブスタッフをより深く知るためのニュースレター

□サブスタッフ養成講座の概要 □デイステーション涼風にインタビュー

サブスタッフ養成講座がいよいよスタート！

今年度も小金井市デイサービス認定サブスタッフ養成講座が開講します。サブスタッフは、「デイサービスで職員のサポートを受けながら、サービスを担うスタッフ」のことです。サブスタッフ養成講座修了後にデイサービスで活動することができます。

平成28年からスタートし、今期は第6期にあたります。これまでに61名のサブスタッフを輩出しており、実績のある事業です。みなさんもこのサブスタッフの一員に加わってみましょう！



サブスタッフ養成講座で学ぶこと

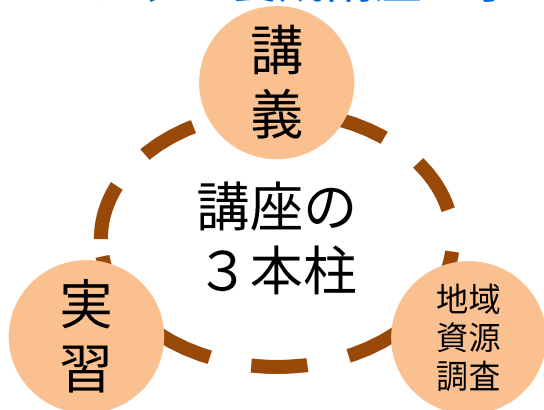


図. サブスタッフ養成講座の三本柱

サブスタッフ養成講座は講座、実習、調査の3つで構成されています。講義と実習それぞれ全13回（計26回）を受講した後に晴れてサブスタッフとして認定されます。

講義では、介護予防に関することやデイサービスで活動するために必要な知識を学び、利用者のみなさんを元気にするための支援の方法をテキストを通して学んでいきます。グループワーク型の講座なので、話し合いながら学びを深めることができます。

実習で取り組む活動

実習ではスタッフのサポートのもと、デイサービスで3時間前後、利用者に対して支援を行います。具体的には、体操の補助や傾聴、見守りなどデイサービスの業務を行います。また、1名の利用者を担当し、一連の支援のプロセスを体験します。担当者の課題をスタッフと共有し、関わる中での変化を発見し、振り返ります。スタッフのみなさんが温かくサポートするので、安心して参加して下さい。



事業所・サブスタッフの声をお届け！

今年度のサブスタッフ養成講座は市内7カ所のデイサービスの事業所で開催されています。このコーナーでは、サブスタッフ養成講座に関わるスタッフとサブスタッフのご紹介をしていきます。



デイステーション涼風

所在地：小金井市中町1-7-34

平成22年に開設。小規模の特性を生かして利用者に寄り添った通所介護などのサービスを展開している。左がインタビューに答えて下さった及川陽子さん（生活相談員）、右が管理者の石井晴美さん（作業療法士）で2人が講座を担当している。

武蔵小金井駅南口から野川に向かって歩き、約15分のところにあるデイステーション涼風。職員の及川さんにまずはお話を伺いました。

Q. 事業所の特色を教えてください。

及川：特別な機械を使わず自宅でもできるようなプログラムを提供しています。また、集いの場としてのグループ作りを大事にしています。外出したり、地域の輪投げ大会への参加やお鍋をみんなで作ったり。先日は府中の森美術館まで行ってきました。

Q. サブスタッフ養成講座を担当したご感想はいかがでしたか？

及川：サブスタッフの2人が「楽しかった！」といつも言ってくれるので、やりがいがありました。さらに教えることが勉強になるので、私自身にとっても良い経験になりました。

Q. サブスタッフ養成講座の魅力は何ですか？

及川：有償であるからこそ責任を持って活動ができることだと思います。サブスタッフにはボランティアの方には任せることができない仕事をお願いできるのが、役割として大きいです。

Q. これから講座を受講するみなさんに向けてメッセージを。

及川：利用者さんとの関わりを楽しみ最高のご自身の介護予防になると思います。ぜひご参加ください！

続いて、サブスタッフの塚本さんにお話を伺いました。サブスタッフ養成講座に参加したことでご自身にとって大きな変化があったようです。

Q. サブスタッフとしてどんな活動をしていますか？

塚本：職員のお手伝いを中心にやっています。具体的には、最初にバイタルチェックをやって、横になって行う体操で声掛けをしたり、利用者の方が上手くできるようにサポートしています。月2回サブスタッフとして活動していて、もう1人の立川さんと交代で担当しています。

Q. 講座の受講を決めたきっかけは何ですか？

塚本：実は石井先生と30年来の付き合いで（笑）パートとして定期的に涼風で働いていて、こんな講座があるからやってみないかと石井先生に誘われたんです。



府中の森美術館での鑑賞会。右後方の女性が塚本さん。

Q. サブスタッフを受講した感想はいかがでしたか？

塚本：これまではミーティングの時は蚊帳の外だったんですけど、色々分かるようになってきたんです。あと、利用者の方に対して訓練の時に関わることができるようになって、「こんな方だったんだ」と特徴が見えるようになってきたのも大きかったかな。あとは、自分のために運動するようになりました。

Q. 養成講座で大変だったことはありましたか？

塚本：記録を書いたりするのは大変だったけれど、この年になるとそうでもないし勉強はしないし、メリットの方が大きかったです。



利用者の体操を見守るサブスタッフの立川さん。

Q. 最後にサブスタッフ養成講座を受講するみなさんにひと言を。

塚本：自分にとってプラスになることだから、もし、時間と気持ちがあるなら頑張ってください損はないです。四十の手習いじゃないけれど、六十・七十の手習いに。生涯学習ですね（笑）